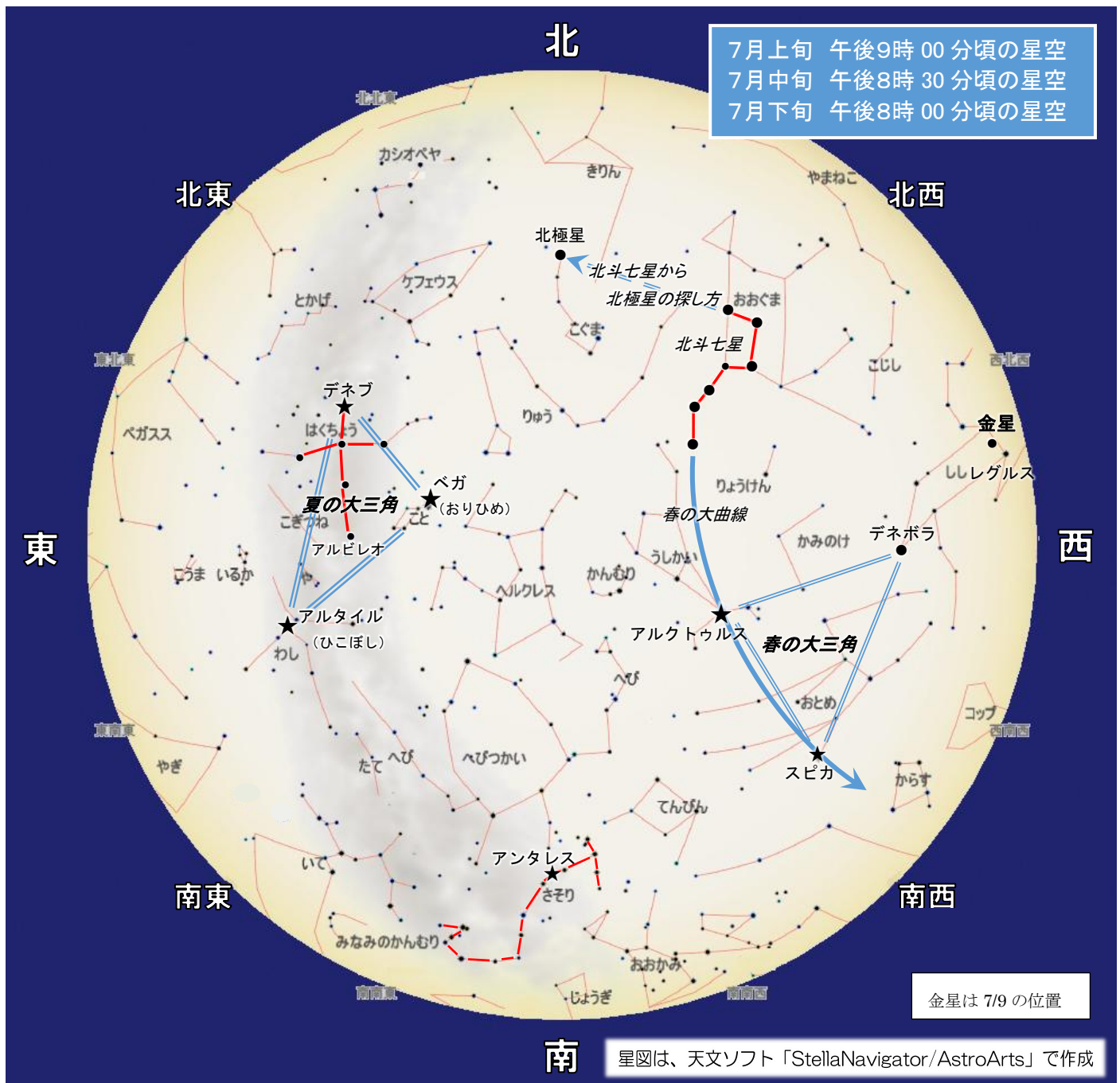


2026年 7月の星空案内



【7月の星空】

7月の宵(よい)の空は、春から夏の星座に入れ替わる時期です。西の空には『春の大三角』がまだ見えています。東の空からは夏の天の川が昇ってきます。両岸には、七夕の「おりひめ星(こと座のベガ)」と「ひこ星(わし座のアルタイル)」が輝き、これに「はくちょう座のデネブ」を加えた3つの1等星で作る三角形が『夏の大三角』です。もともと七夕は旧暦7月7日の行事で、今年は8月19日にあたり、こちらを「伝統的七夕」と呼びます。

南の空の低い位置に輝く赤い星は「アンタレス」。この星を中心にSの字を横にのばしたような星の並びがさそり座です。南の空が開けたところで見つけてみましょう。

【7月の惑星】

7月上旬から中旬ごろ、夕方から宵(よい)の西の低い空で、「金星」としし座の1等星「レグルス」が接近して見えます。最も接近するのは9日です。満月2個分ほどまで近づくので見ごたえがあるでしょう。また、17日には、夕方から宵の西の低空で、「金星」と細い「月」が接近して見えます。